

至誠の会 レポート 01 vol.01

山本龍 前橋市長、見事に再選!!

信頼を勝ち得た今、新たなステージへと駆けあがる!



本年2月に執行された前橋市長選挙において、山本龍市長は100を超える各種団体からの推薦と、市民の皆様からの熱烈な支援に後押しされ、盤石の状態で選挙戦を展開することができました。本号では、2期目の市政運営に臨む山本市長の決意やビジョン、前橋の重点施策についてレポートします。

■初登庁時の挨拶要約

(平成28年2月29日 前橋市役所・玄関前広場)

本日まで親身になって私を支えて下さった皆様に感謝を申し上げます。

私たちは再び市民の信頼を勝ち取ることができました。私たちひとり一人の力で掴んだ勝利です。今回の勝利は前回とはまるで違う。この4年間で、山本龍とは何者なのか、何を成し得たいのかを詳細にわたって示してきまし

た。そのうえで前橋の未来を託していただいたのです。「この道を進むしかない」という絶対的な自信をもって2期目の市政に取り組んで参ります。

1期目の4年間は、私が市長職を全うできるのかと、皆様にご心配をおかけしたと思います。下増田のゴミ焼却場や前橋工業高校跡地の問題、未曽有の大雪被害など、想定外の苦労も様々でした。しかし、前橋市役所の職員と新たな絆を育みながら、助け合い、信頼し合ってひとつ一つの政策を進めることができたのです。

これからの4年間、前橋はさらに動いていきます。そのためにも皆様の力を貸して下さい。山本龍のためではなく、前橋市のためには貸して下さい。皆ができる事を社会のために成し遂げていく、これが“明日の種”になるということです。これから4年間をどうぞ楽しみに見守って下さい。

1期目の実績と成果(平成25~27年度)

山本市政の検証

全58施策に対する
目標達成率

88%

歳入を増やして
支出を削る!

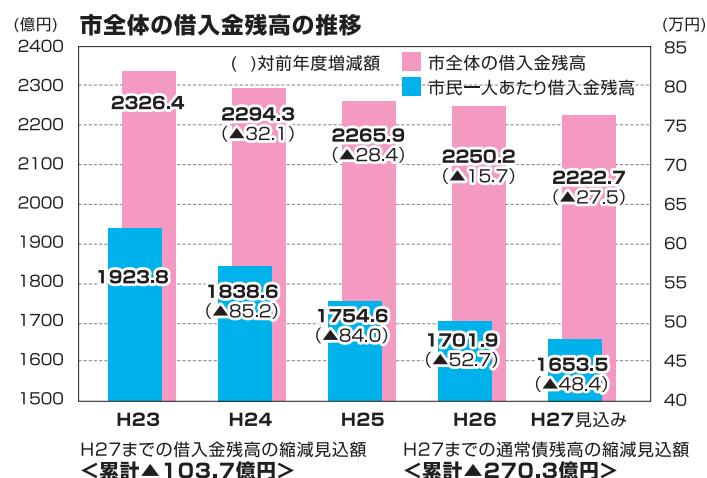
「やりくり」から生まれた経済効果

経費削減
約12.1億円

+
歳入確保
約25.8億円

財政効果額
合計 約37.9億円

さらに、前橋市の借金を減らし、財政再建にも尽力
※市全体の借入金残高も4年間で103.7億円の縮減



2期目に掲げる前橋のビジョン

健康医療都市を強く推進

- 119番通報から病院までの収容時間 ⇒ 平均29.9分
(久留米市の最速 26.2分を超えてみせる!!)
- 全国屈指の医師数
⇒ 前橋市民 200人当たり1人の医師
- がん検診 ⇒ 検診無料化実施中、がん死亡率の低下
- 5歳児就学前健診スタート
⇒ 市内全園を発達専門員が訪問

高齢化社会という大きな課題を乗り越えるうえで、前橋市の充実した高度医療サービスは大きな武器となります。

現状に加え、日赤病院の移転に伴う新病院の建設・跡地の有効活用が予定されており、前橋市の医療・介護体制はさらに充実して参ります。

さらに、“誰もが生涯活躍できるまちづくり”(前橋版CCRC)の推進により、全国でも先進的な医療・介護モデルを提供できる都市への成長が期待されます。市民が安心して暮らせる「住都前橋」を象徴する施策になると同時に、県都前橋の再生や人口減少対策の起爆剤になります。

エネルギーを賢く地産地消

- 太陽光・小水力・バイオマス発電を推進
- 消費電力の削減 ⇒ 街路灯、市有施設照明 LED 化
- 赤城山をきれいにする取り組み

再生可能エネルギーの開発・導入を行い、原発に頼らない街を実現します。省エネへの取り組みはもちろん、エネルギーの有効活用を積極的に推奨することで、環境に優しい“スマートなエネルギー都市”的確立を目指していきます。

民間活力で街を変える（前橋駅～広瀬川まで）

- 発展する南部拠点地区 ⇒ 「コストコ」や「IKEA」の進出
- 充実する起業支援 ⇒ まちなか店舗最大500万円創業支援
- 中心市街地の空き店舗対策 ⇒ シェアハウス事業による活用
- 民間共創による、楽しみの創出 ⇒ アーツ前橋、○○部、イルミネーション

個人や民間企業が主となって、中心商店街の活性化を試みる動きが加速しています。地域の中での達成感を求めて、空き店舗で起業する若者も増えてきました。この流れを応援し、市民が主体となった街中再生へと引き続き取り組んでいきます。大型ビルを建設して人を呼び込むのではなく、市民の企画を応援しながら街中の楽しみを増やしていくのです。

前橋が
首都圏の安心を
守る



前橋中心街下げる
2地点、24年ぶり横ばい

安全性・拠点性を活かした都市開発

- 関越道と上武道路の接続 ⇒ 駒寄スマートIC 2017年度大型化完成（北国街道の拠点）
- 積極的な企業誘致と工場団地の拡張
- 安全性の高い立地条件 ⇒ 今後30年大地震発生率0.008%以下
- 豊富な水資源 ⇒ 水道GLP認定取得（H23）

前橋で生まれた
こだわり商品を
充実させる

道の駅の設置と6次産業化の推進

- 上武道路道の駅 2020年度OPENへ（年間来場者500万人、売上50億円を目指す）
- 地産地消の推進 ⇒ H26年度学校給食の地産地消率48.49%
- 農業ブランドの推進 ⇒ 「赤城の恵」認証により品質保証
- 農地のマッチング事業展開中 ⇒ 6次産業化を応援

オリンピックへ
向けてスタート

歴史・文化・スポーツを観光の起爆剤に

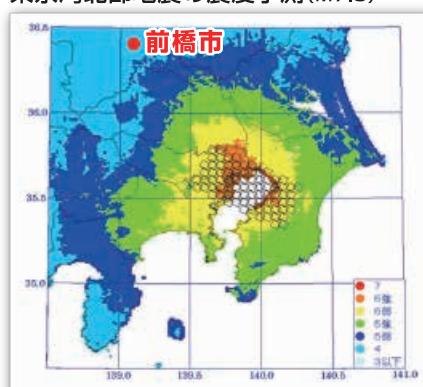
- 自転車のまち・まえばしを推進 ⇒ 赤城山ヒルクライム、シクロクロス
- 群馬フットボールセンターの開所 ⇒ 全国大会誘致助成制度あり
- 歴史遺産活用プロジェクト ⇒ 萩原朔太郎、上泉伊勢守、レンガ・シルク
- 文化財の活用による観光振興 ⇒ 臨江問、阿久沢家住宅、大室公国など

マイナンバーカード
による情報連携を
推進

暮らしに役立つICT化を推進

- ICTにより市民生活の利便性が向上 ⇒ 1枚のカードで暮らせる街へ
- 学びと健康増進のICT実験中 ⇒ 健康記録をクラウド化
- GIS（地理情報システム）情報提供中 ⇒ 情報を市民・企業へ開放
- 学校教育への導入 ⇒ 授業用タブレットPCの導入

東京湾北部地震の震度予測(M7.3)



出典：内閣府政策統括官（防災担当）資料



市内のニュース

前橋駅北口の再開発事業 2019年度に複合ビル完成を目指す

CITY NEWS

前橋駅北口の計4,000m²の区域で再開発事業に着手します。前橋市では、かねてより中心市街地の再開発事業を促進するために補助制度の要件緩和を盛り込んだ『市街地総合再生計画』の策定を進めてきました。

そしてこの度、民間活力を導入してマンションや特別養護老人ホーム、店舗などを備えた複合ビルを建設するという再開発事業に着手します。前橋駅北口の再生を推進することで、中心市街地の定住人口の増加や、賑わいの創出につなげていきたいと思います。

本事業は民間事業者の公募と地権者との調整を進めながら、来年度中の着工・2019年度の完成を目指していきます。



新しい街づくりのスタート 前橋駅北口に立体駐車場が完成

CITY NEWS



本年5月10日、前橋駅北口に立体駐車場型コインパーキングがオープンしました。これにより、パークアイランド（車で駅に行き、公共交通機関へ乗り換えるシステム）機能が強化され、電車の利用促進が期待されます。JR前橋駅の乗客が増加すれば、駅周辺が活気づくとともに、駅から広瀬川までの素晴らしいロケーションを堪能しながら市街地を回遊してもらえるチャンスが拡がります。市街地に楽しみを生み出すことで、相乗効果をもたらすことができるよう取り組んで参ります。

副市長を紹介します。



倉嶋 敬明 (くらしま たかあき)

昭和30年7月9日生(60歳)前橋市出身、中央大学理工学部土木工学科卒業。
元群馬県県土整備部長。

2期目の市政運営に臨むにあたり、倉嶋敬明氏に副市長への就任を依頼しました。ゴルフと日本酒が大好きで、朗らかな方です。簡単な経歴とともにご紹介します。

土木事業のスペシャリストとして活躍してこられた倉嶋副市長には、私が1期目で練り上げてきたプランの実行・実現にご尽力いただけないと期待しております。

(本町五差路の改良工事、道の駅の建設、日赤病院跡地の開発、中心市街地、主要幹線道の早期完成など)

山本龍 政党支部活動支援団体

「至誠の会」入会のお願い

課題が山積する前橋市政に政治生命をかけて取り組むという山本市長の政治活動を側面から支援しております。本趣旨にご賛同頂ける皆様に、ぜひご入会賜りたくご案内申し上げます。

会費：月額3,000円(年額36,000円)
詳細は後援会事務局までお問い合わせ下さい。

山本龍後援会事務所

〒371-0022

前橋市千代田町2丁目7-19 ユーアイ井上ビル2階

TEL: 027-219-1005 FAX: 027-219-1006

HP: <http://www.yamaryu.net/>